レーザー 、ＧＰＳ電子野帳

A-LaserAd

Android

エース プロジェクト

2019/10

Ver 1.0.5 にて変更された計算です。

・磁気偏角を求める近似式を 2015 年値に変更。

下記説明書にて変更点を赤字で記載しました。

5.2 磁気偏角補正

磁気偏角補正値を求めます。

現場の緯度、経度を入力します。
プロット画面の、座標点をタップして入力できます。

緯度、経度より 磁気偏角及び真北方向角を計算し結果を表示します。

「登録」ボタンで、保存します。
直接、結果の手入力もできます。
結果の数値が、測定器からの方位角にプラスされます。

磁気偏角 ： 磁北と真北とのなす角度で、日本において磁北は真北より西に傾いている。

真北方向角 ： 座標軸の北と真北とのなす角度。
右側が＋で左側が－の値となる。

レーザ機器は、磁北の値を表示、出力します。
磁北より、座標の北を求める為に「磁気偏角」と「真北方向角」を補正します。
磁気偏角の計算式は「国土地理院」のHPに掲載されている2015年の計算式を使用しています。

※ レーザー機器にて直接、磁気偏角を入力しレーザー機器で補正している場合はソフト側で補正しないように、
結果の値に 0 を入力して登録してください。

磁気偏角の計算は、下記の国土地理の 2015 年値の近似式を使用しています。

https://vldb.gsi.go.jp/sokuchi/geomag/menu_04/index.html